



葵祭、祇園祭、時代祭の京都三大祭り。京都では他にもたくさんのお祭りがあり、年中どこかで祭りをやっていると言われるほど。

そのお祭りの中で、庶民の娯楽として楽しまれてきた盆踊りがあります。地域の結束を強める意味合いもあり、昔から地域の人々の手で続けられてきました。しかし最近、後継者不足などの理由により盆踊りが行われなくなった地域の話も耳にします。

左京東部・左京西部周辺の地域もそのうちのひとつ。左京東部いきいき市民活動センターでは、錦林の盆踊り復活のきっかけ作りに関わりましたが、私たちが管理を行うもう一つのセンター、左京西部いきいき市民活動センターのある地域でも復活の兆しがあるようです。

また、京都市各所に点在するいきいき市民活動センターから「お祭り」に関する情報をご提供いただきました。

まずは左京東部・左京西部での新たなお祭りについて、その仕掛け人の一人、センター職員でもある、スズキキヨシさんにお話を伺いました。

「盆踊りは20年ぶりの復活だったんですね。そんな中大盛況となった要因はなんだったと思いますか？」

まず、地元の高岸町自治会から音頭取りの志賀國天寿さんを紹介していただいたこと。そして天寿さん指導の元、生演奏での練習会を計7回実施、本番さながらの熱い踊りの輪を体験した人からどんどん口コミが広がっていった。その中でも、地域外から来た盆踊り好きの若い世代と、地域住民が踊りを通して出会ったことが大きかったですね。練習会後、センター向かいの銭湯に一緒に行ってそこでも盛り上がり、銭湯

もともと左京東部では、毎年夏にサマーフェスティバルというお祭りがあったそうです。そこでは、地域の方のカラオケ大会やいきセン利用者の出し物など行われていたと聞きました。

そんな中、地域から「もっとたくさんの人をこの地域に呼びたい」「若者や外国の方など、多様な方にこの地域を知ってもらいたい」という声が上がりが、それに呼応する形で企画を考え始めました。その折、最近の盆踊りブームの情報が入り、浄土寺にある本屋「ホホホ座」の山下さんに相談したところ、漫画家の「スケラッコ」さんを紹介してもらい、そこから「ボンオドラ」と呼ばれる盆踊り女子たちの存在を知りました。そこで彼女たちを巻き込めれば、地域外からの参加も見込めるのではないかと考え、チラシのデザインもスケラッコさんに依頼することになりました。

「盆踊りを始めようとしたきっかけを教えてください。」

「左京西部いきいき市民活動センターでも、今年から新たなお祭りが始まりますね。」

いきセンとの関わりは、2014年3月に開催した「いきいき春の夏まつり」というダウン症児たちとの交流イベントからですが、翌年センターの職員になった経緯から、先ほどの「復活！錦林盆踊り大会」を、その後、利用者同士の交流を目的とした「さきょーラ音楽会」を東部の企画として実施しました。

そして、西部1階にある養正保育所で「夕涼み音楽会と盆踊り」を昨年開催させていただいたことから、今回の「ようせい夏まつり」の開催に繋げることができました。

「今後の構想についてお聞かせください。」

いきセンと地域を盆踊りでつなぐことに大きな可能性を感じているので、この動きをもっと広めていくために音頭取り、楽団の育成、また、表現の場として魅力を高めるために、ダンサー役者を含めさまざまなアーティストとの協力が不可欠だと感じています。そして、ホコ天。百万遍周辺を歩行者天国にして、マルシェやライブ、交差点の真ん中に櫓を組んで盆踊りとか、天保10年に京都で大流行した仮装おどり「蝶々踊り」など。5年後くらいに実現したいですね。

「左京西部いきいき市民活動センターでも、今年から新たなお祭りが始まりますね。」

「盆踊りを始めようとしたきっかけを教えてください。」

「左京西部いきいき市民活動センターでも、今年から新たなお祭りが始まりますね。」

「盆踊りを始めようとしたきっかけを教えてください。」

「左京西部いきいき市民活動センターでも、今年から新たなお祭りが始まりますね。」



#01-2 インタビュー
スズキキヨシさん

#01-3 見どころ

左京東部・左京西部のお祭りの見どころ、それぞれまとめてみました。



左京東部の見どころ！

「20年ぶりの復活」途絶えていた盆踊り。2015年に復活
「芸歴57年の志賀國天寿さん」天寿一門勢揃いで音頭取り
「サンポーヨシの生演奏」盆踊り復活とともに結成、盆踊りバンド
「大きな行灯」踊りの輪の真ん中、大きな光るオブジェが出現
「自治会の屋台」地域の自治会が提供するたくさんの屋台

左京東部いきいき市民活動センター
「復活！錦林盆踊り大会2017」
7月30日（日）午後5時～午後9時（荒天順延）
高岸南公園
京都市左京区鹿ヶ谷高岸町37



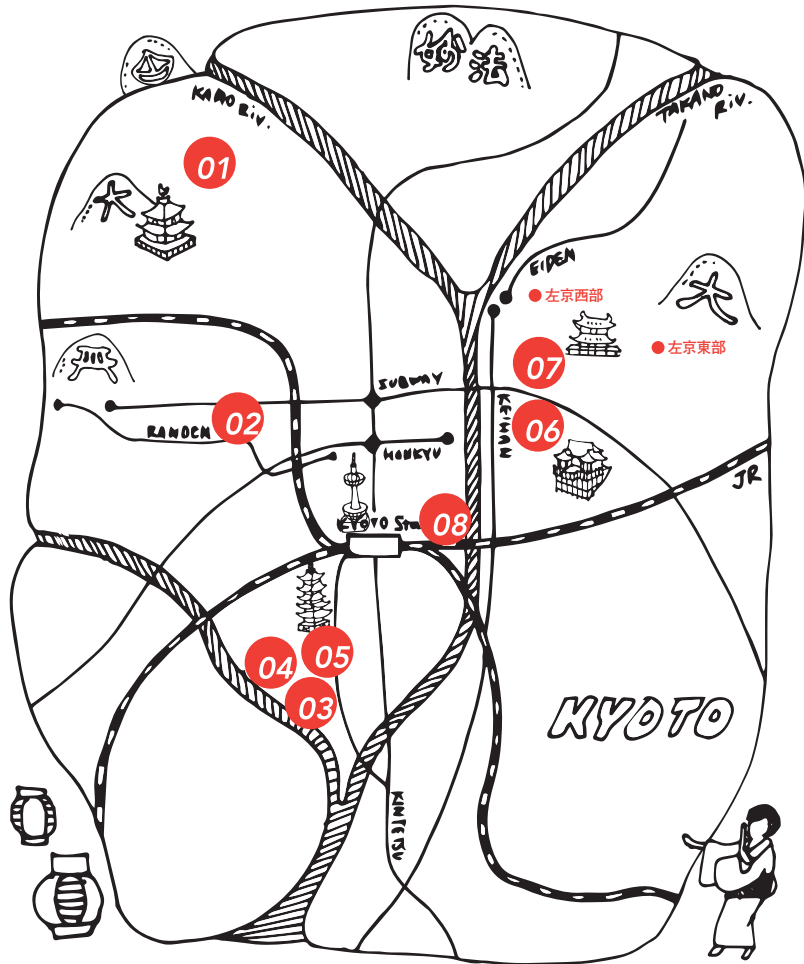
左京西部の見どころ！

「20年ぶりの復活」左京西部は今年復活
「左京からの屋台多数」地域からの出店もあり
「左京からの出演者たち」京大熊野寮アイドルグループ etc
「シメは盆踊り」こちらもサンポーヨシの生演奏でお届け
「電車からお祭りが見える」会場は叡山電鉄「出町柳駅」からすぐ
「きらびやかな会場装飾」ミラーボールを使ったライティングも！

左京西部いきいき市民活動センター
「ようせい夏まつり」
8月19日（土）午後5時～午後9時（荒天順延）
養正希望の広場
京都市左京区田中馬場町77

#02 京都いきセン お祭りマップ

左京東部、左京西部いきセンの他にも、いきセンがある地域では様々なお祭りが行われます。今回はマップ形式で各センター周辺のお祭りを紹介します。



05

上鳥羽北部いきいき市民活動センター
「上鳥羽夏の夜市」

～地域みんなで夏の夜を楽しみましょう～

7月22日(土) 午後6時～午後9時
上鳥羽村山公園
〒601-8187 京都府京都市南区上鳥羽北村山町

小さなおせっかいに包まれた温かくて、心地よい上鳥羽の町づくりの推進と地域の皆様の交流の場とリユース食器の利用やごみの減量にも取り組みエコなお祭りを目指しています。(上田)



06

東山いきいき市民活動センター
「三条まちづくりフェスタ」

11月5日(日)
若松通(若松通の綱手通～花見小路通までの区間)
主催：三条まちづくり協議会

食べ物の屋台やゲームコーナーやステージ演奏など、子どもも大人も楽しめる地域のお祭りです。ぜひ一度足をお運びください!(安田)



01

北いきいき市民活動センター
「楽し夏まつり2017」

8月5日(土) 午後5時～午後9時
楽只小学校 校庭(雨天時は講堂で実施)
〒603-8226 京都府京都市北区紫野西舟岡町2
(千本北大路下がる東側 徒歩1分)

盆踊りのほか、琉球國祭太鼓、笑い鼓・我楽、紫踊屋、京炎そでふれなど学生さんの演舞、子どもたちのヒップホップダンスはじめ模擬店、フリーマーケット、ゲームなど内容は豊富。ぜひ、おさそいあわせのうえ、ご参加ください。(古川)



02

中京いきいき市民活動センター
「あかしやふれあい盆踊り大会」

8月5日(土) 午後5時30分～午後8時30分
朱雀第四小学校 校庭
〒604-8482 京都府京都市中京区西ノ京殿町164

この「あかしやふれあい盆踊り大会」は約15年前から、学区の自治連合会や地域の団体と中京いきいき市民活動センターと協力して地域密着型のイベントを行っています。毎年、子供から高齢者まで幅広い年齢層で来場されにぎわいます。(和田)



03

上鳥羽南部いきいき市民活動センター
「いきいき夏まつり」

8月3日(木) 午後6時～午後9時
山ノ本児童公園
〒601-8174 京都府京都市南区上鳥羽山ノ本町

いきセン近くの山ノ本児童公園でテント、舞台を設営し地域のボランティア団体を中心に出演いただいています。これからも地域交流を深める場として「いきいき夏祭り」を盛りあげたいと考えています。(福永)



04

吉祥院いきいき市民活動センター
「第19回吉祥院ふれあいジャンボリー」

10月21日(土)(雨天時22日(日)に順延)
吉祥院小学校 グラウンド
〒601-8330 京都府京都市南区吉祥院船戸町34

吉祥院で長年続いているお祭りです。ステージや屋台がたくさん並び、今年はハロウィンイベントも企画中。ぜひ遊びに来てください。(河村)



#03 いきいきコラム

場所と機能

センター長 杉山 準

当センターを指定管理する私たちNPO劇研(げきけん)は、民間の小劇場「アトリエ劇研(げっけん)」の運営をその出発点としています。劇場も当センターも、いくばくかの料金をいただいて場所を貸す事業を行っている点で似ています。ですから、その両者ともが「場所を貸す施設」と思われていることが多いのですが、それは正確ではありません。劇場もいきいき市民活動センターも、それぞれ目的を持って運営されており、意思を持って活動することで、社会に働きかける機能を果たしているのです。

私たちの劇場は現代演劇やダンスの専門館という特徴ある劇場で、舞台芸術の振興を主な目的として運営されています。この劇場を出発点に、有名になっていった劇団や人材がたくさんいるように、特に人材育成で功績を残してきました。いきいき市民活動センターはサークル活動も含めた様々な市民活動の活性化のために運営されています。当センターの来館者は年間4万人以上になり、その存在感は少しずつ大きくなっています。社会的な使命を達成しようという思いが、例えば「場所を貸す」ことに、それ以上の意味を見出し、様々な波及効果や価値を生むのです。

さて、残念ながら私たちの原点である劇場は今年の8月末をもって閉館します。思いを体現する活動拠点を失うことの大きさを、改めて感じる今日この頃です。

#04 編集後記

今号より編集長が代わりです。人が何を思って今があって、ここから先どんな思いでどんな未来を作っていくのか。そういったことを、いきいき市民活動センターの活動を切り口に、読んでいただいている皆さんとビジョンを共有していくことができればこれ幸いです。センター長のコラムにもありますが、次号は「場」をテーマとして、左京西部のいきいき通信と連動し、人が集う、左京区の様々な「場」を特集していきたいと思えます。(沢)



左京東部いきいき市民活動センター

〒606-8432 京都府京都市左京区鹿ヶ谷高岸町3-2

TEL: 075-761-1385 FAX: 075-752-3350

MAIL: info@se-ikiiki.com URL: http://gekken.net/SE_IKIKI/

開館時間: 10時～21時(日曜日は17時まで) 休館日: 火曜日・年末年始(12/29～1/4)

アクセス: 京都市営地下鉄 蹴上駅より徒歩15分 バス停「東天王町」より徒歩5分

※駐車場はございませんので、公共交通機関もしくは最寄りのコインパーキングをご利用ください。

発行: 左京東部いきいき市民活動センター 発行日: 平成29年7月20日

編集長: 沢大洋 デザイン: 小川晶弘